

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」スタート

災害に負けない新潟、災害に強い新潟へ

平成26(2014)年は、新潟地震から50年、新潟焼山火山災害から40年、中越大震災と7.13水害(新潟・福島豪雨災害)から10年の節目の年にあたります。新潟県は、これまでに地震、津波、水害、雪害、火山災害など多くの災害に見舞われてきました。しかし、私たちは助け合いながら、豊かな知恵と工夫、我慢強く諦めない心で、新しいまちづくりを実現してきました。

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」では、防災・減災に関するさまざまな取り組みや、県民のみなさまお一人おひとりの備えに役立つ情報の発信を柱に、関係者が連携・協力した活動を展開していきます。みんなの力を合わせて、社会全体で防災・減災に取り組みましょう。

1964 昭和39年
新潟地震
あれから 50年



写真提供:新潟地方気象台

2004 平成16年
新潟・福島豪雨(7.13水害)
あれから 10年



写真提供:三条市

1974 昭和49年
新潟焼山火山災害
あれから 40年



写真提供:糸魚川市

2004 平成16年
中越大震災
あれから 10年



写真提供:北陸地方整備局



38豪雪
あれから 50年

東日本大震災
あれから 3年

中越沖地震
あれから 7年



防災・減災
新潟プロジェクト
2014

シンボルマーク

教訓を
伝えて活かす
まちづくり

キャッチフレーズ

プロジェクトへの参加など詳しい情報はこちらから。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/project/index.html>

防災・減災 新潟プロジェクト2014

検索

プロジェクトへの参加 ～みんなで防災・減災に取り組みましょう～

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」では、過去の自然災害から得られた貴重な教訓を、風化させることなく後世に語り継ぎ、社会全体で防災・減災に備えるため、企業・団体等の皆様に参加を呼びかけています。防災・減災に向けた地域づくり・まちづくりの機運を高めるため、ご協力をいただきますようお願いします。

ご協力いただく内容例

- ◆シンボルマーク・キャッチフレーズの使用(名刺、ホームページ、商品、ステッカー、広告等)
- ◆防災訓練や防災・減災に関するイベントへの参加
- ◆防災・減災にかかる独自の活動 など

参加特典

プロジェクトの趣旨に御賛同いただいた企業・団体等の皆様は、統一キャンペーンホームページなどで防災・減災に関する取り組み内容等を紹介させていただきます。

参加特典

- ◆統一キャンペーンホームページへの掲載(企業・団体等ロゴ、HPにリンク)
- ◆プロジェクト共通のパネル、映像等の無料貸出
- ◆企業・団体等の防災・減災に関する取り組み内容の紹介(HP、パネル等)

シンボルマーク・キャッチフレーズの使用について

「防災・減災 新潟プロジェクト2014」統一キャンペーンのシンボルマーク・キャッチフレーズは企業・団体などプロジェクトの趣旨に御賛同いただける皆様に無料でお使いいただけます。使用する場合には、事前に使用届の提出をお願いします。



防災・減災 新潟プロジェクト 2014

教訓を伝えて活かす まちづくり

防災・減災 知っ得情報 教訓を伝えて活かす まちづくり

非常時の安否確認に「災害用伝言ダイヤル」(171)

被災地の方が「171」をダイヤルすると、自宅の固定電話や携帯電話にて伝言を届けることができます。

【災害用伝言ダイヤル(171)の使い方】
「171」をダイヤルするとガイダンスが流れます。ガイダンスにしたがって「1」をダイヤルし伝言を録音します。この伝言は48時間保存されます。伝言を聞くには「171」のあとに「2」をダイヤルしてください。「171」さえ覚えておけば、ガイダンスにそって使えます。「171」をダイヤル。(ガイダンスが流れます)

災害用伝言ダイヤル(171)の使い方
● 毎月1日、15日
● 毎月3日
● 毎月1日～3日
● 毎月15日～21日
● 毎月30日～9月5日

被災地の自宅の電話番号、または、連絡をとりたい被災地の方の電話番号を市外局番から入力(ガイダンスが流れます)

伝言を録音します 伝言が再生されます

防災・減災 知っ得情報 教訓を伝えて活かす まちづくり

緊急地震速報を見聞きしたときは まわりの人にも声をかけながら

◆家庭では
・頭を保護し、丈夫な物の下など安全な場所に避難してください。
・あわてて外に飛び出さないでください。
・無理に火を消そうとしないでください。

◆街中では
・ブロック塀の倒壊等に注意してください。
・覆瓦や割れたガラスの落下に注意してください。
・丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難してください。 ○○会社

避難の状況により身体状況は異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

企業でつくる防災カードなど

シンボルマーク・キャッチフレーズ活用例



詳細はホームページを御覧ください。

<http://www.hrr.mlit.go.jp/project/index.html>

防災・減災 新潟プロジェクト2014

検索